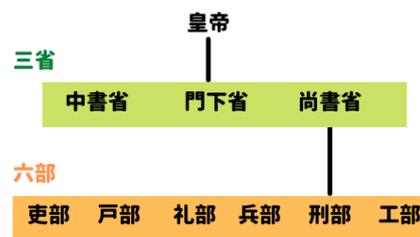


三省六部とは？

三省の中の（ ）が詔勅（しょうちよく）を起草したものを、（ ）で審議され、審議を通過した詔勅は（ ）が直属の専門機関である（ ）に分担して執行させた。

※詔勅とは、公の資格で発する文書の総称。

三省六部制度は、（ ）時代に行われた政治制度。



六部の中で

（ ）は、科挙を実施。（ ）は官吏の人事を担当。科挙合格者の身言書判の審議をするのが（ ）。身言書判とは貴族としてふさわしい体格風貌、流暢な弁舌、優美な筆使い、理路整然たる文章力を試験するもの。

Q) 中書省を廃止したのは

A) （ ）

（ ）は、六部を管轄していた中書省を廃止して、皇帝の直属下に。

cf)明時代に廃止された中書省は唐のものとは違い、元の頃に出来たもの。

名前は同じですが、性質は違います。[元の頃の中書省は皇帝の下部機関。]

1402年、()が明の第3代皇帝となった時、政治の最高機関として、()が設けられ、その中で皇帝の補佐を行ったのが()。事実上の宰相。

内閣大学士は、1729年清の()の時、()が設置されたことにより、権限が弱体化。雍正帝が軍機処を設置したのは、()を征服するにあたり、迅速な決定が出来るようにするため。

軍機処の廃止は、()年。この時に内閣も廃止されている。

cf)この頃の清は、1900年からの義和団事件が終わった後の()の時。1905年に()を廃止し、1908年に()を発布し、1916年の()を約束している。(その後早期開会の要求が高まり、1910年、1913年の国会開設を約束。)